

第8次足利市総合計画策定に係る 足利市まちづくりワークショップ 実施結果報告書

第8次足利市総合計画策定に当たり、本市の将来のあるべき姿や期待するまちの姿についての議論を通じ、まちづくりに対する市民の皆さんの考えや意見をお聞きするため、まちづくりワークショップを開催しました。

1 実施概要

(1) 日 時 令和2(2020)年10月24日(土) 午前9時～正午

※午後に足利市立地適正化計画に関するワークショップを開催しました。

(2) 会 場 足利市民プラザ 小ホール

(3) コーディネーター 足利大学 工学部建築・土木分野 渡邊美樹 教授

(4) 参加者 35名

- | | | | |
|------------|----|------------|----|
| ・市内高校生 | 9名 | ・PTA推薦 | 6名 |
| ・自治会推薦 | 5名 | ・一般公募(大学生) | 5名 |
| ・一般公募(社会人) | 6名 | ・市役所新規採用職員 | 4名 |

(5) 実施方法

- ・総合計画の仕組みと本市の課題や取り組みを説明した後、6班に分かれ、グループワークを行った。
- ・グループワーク1として、「足利市の良い所、悪い所」を個人で書き出し、各班で話し合っただ模造紙にまとめ、発表を行った。
- ・グループワーク2として、ワーク1の結果をもとに、良い所は伸ばし、悪い所は改善する視点で、足利市をもっと良いまちにするための方法を検討し、将来なっしてほしいまちの姿を話し合った。ワーク1と同様、各班で模造紙にまとめ、発表を行った。



2 ワークショップで出た主な意見

(1) 足利市の好きな所、嫌いな所

好きな所	嫌いな所
<ul style="list-style-type: none"> ・ 山々の景色など自然豊かなところ ・ 観光する場所が多い ・ 神社が多い ・ 歴史的建造物が多い ・ 花火大会 ・ 映像のまち ・ 水や食べ物がおいしい ・ 新しいことをやっているまち ・ 地震災害が少ない ・ 高速道路がありアクセスが良い ・ 子どもが元気 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前に活気がない、町が寂しい ・ 交通の便が悪い ・ 車がないと生活が不便 ・ 道・歩道が未整備 ・ 公園が汚い ・ 耕作放棄地が多い ・ 大企業がない ・ 中高生の遊び場ない ・ 市民にまちづくりへの温度差がある ・ 技術が陰に隠れている ・ 名物のPRが少ない

(2) まちづくりの具体的な方法

- ・ SNSを活用した足利市のPR
- ・ 駅周辺の整備、JR・東武駅の一体化
- ・ 車に頼らないまちづくり
- ・ 自然・文化財をめぐるバスを作る
- ・ 教育環境の整備
- ・ 地域のことを自分のことに思える心の醸成
- ・ IT化の推進
- ・ ロケ作品とのコラボ商品の展開
- ・ 市外へのアクセスを向上させる
- ・ 施設整備

子どもの遊び場
 公園の整備（古くてもきれいな公園）
 動物園などの大型施設
 食のアンテナショップ
 住民の交流施設



(3) 将来なっしてほしいまち

- ・ 歴史と文化のまち
- ・ 自然を活かしたまち
- ・ きれいなまち
- ・ 期待を込めて大きなことができるまち
- ・ 生活しやすいまち
- ・ 人にやさしいまち
- ・ みんなが安全に暮らせるまち
- ・ 住民のつながりがもてるまち
- ・ 市民があきらめないまち
- ・ 住み続けたいと思うまち
- ・ いつでも帰って来られるまち
- ・ 若者がとどまるまち
- ・ 発信力の強いまち
- ・ 情報発信で輝けるまち



3 まとめ

自然や歴史・文化など、これまで強みとしてPRしてきた部分が、市民から「好きな所」として挙げられていた。

駅周辺の活気や車がないと不便である点は、これまでも、様々な形で指摘されてきた。今回、まちづくりに対する市民の温度差についてやモノづくりの技術が活かしきれていないなど、新たに足利市の伸びしろと考えられる意見も出ていた。

「将来なっしてほしいまち」として、SNSを活用した情報発信に関して多くの班から意見がでた。情報化社会における市民意識の高さを改めて認識する機会となった。

また、将来の足利市に対して、安全な暮らし、生活のしやすさ、住民のつながりなど、生活の身近な部分に期待する意見が多かった。

今回、高校生から年配の方まで幅広い世代に参加いただき、各世代の意見を聞くことができた。参加者同士も、世代間で交流を図ることができて良かったとの感想をいただいた。参加者のまちづくりに対する率直な意見や、熱い思いを感じることができ、有意義なワークショップであったと考える。